

245回例会 新緑の深坂古道を歩く

〈開催日時〉 2015年5月10日(日)
 〈集合場所〉 近江八幡駅北口 8:00・堅田駅 8:40
 〈参加者〉 小山・和田・大谷 担当幹事以下 27名 + ガイドとして長浜市役所橋本氏が「あじかまの郷」で合流

天候に恵まれ、休日の渋滞の影響もなく快調にチャーターバスは進み、予定通り「深坂古道南口」に到着しました。
 深坂古道はの植生は、長浜市役所により調査が行われ、当同好会の森さんも参加しておりました。
 古道は、滋賀福井の県境にあり、日本海側の植生環境との境に位置している。どんな植物に会えるか期待して参加しました。

古道入り口～深坂地蔵

深草古道南口の案内図



今、真っ盛り 峠道のあちこちで咲いていた
タニウツギ



つる性落葉低木、林縁に生育
クマヤナギ



ナツトウダイ



ミツバツチグリ



敦賀・琵琶湖・京大阪のルート「海道」



マムシグサの仲間には日本中に近縁種があり、分類が難しいと言われている
アオテンナンショウ



山地に生える多年草、スゲの仲間には見えない
タガネソウ



シカ害防止の青テープ



スミレサイシン



「馬継」であった荷受問屋跡



カントウマムシグサ



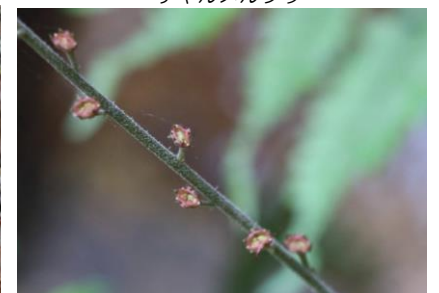
湿地の枯れ葉に出る
カンムリダケ



クラマゴケ



チャルメルソウ



ゼンマイ



ナガバモミジイチゴ



深坂地蔵



深坂地蔵 ~ 深坂峠
これより多雪地帯では見られない？
イヌブナ



葉表面の艶と葉先の尖り
ミヤマガマズミ



コハウチワカエデ



マルバアオダモ



ユキグニミツバツツジ



タムシバ



ヤマボウシ



カスミザクラ



ササの花



コシアブラ



日本海側に多いサウフタギと区別がつかない
タンナサウフタギ 実が成れば



葉幅が狭い
トキワイカリソウ



この場所ならではの種が多く見られた ガイドの橋本さんに聞く
ホクリクタツナミソウ ヤマジノホトトギス



深坂峠 ～ 深草古道北口 福井県側
ミツバアケビの花



クマシデ



県境の深坂峠 ここで昼食

シラキ



豪雪地帯の根曲がり、枯れ葉が深く堆積



アツミカンアオイ



幹のトゲが目立つ オオウラジロノキ



ミズナラ 葉柄が短く目立たない



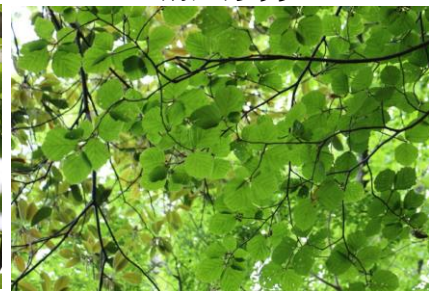
マルバマンサク



マルバアオダモ 円錐花序の両性花が綺麗



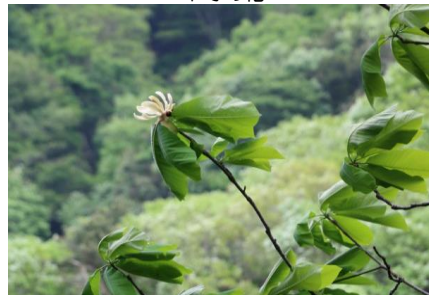
イワガラミ



ホオの花



古道に二つある歌碑の一つ



花糸が白く、合着具合もヤブツバキに近い



タニギキョウ

ユキハタツバキ
合着具合が左よりは深い



エゴノキ

花糸が赤く、深く裂けている



マタタビ



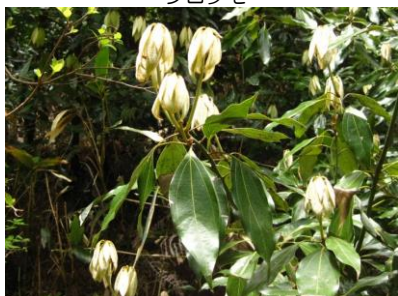
シロダモ



ヤブデマリ



ツリバナ



キブシの若い実



ケケンボナシ



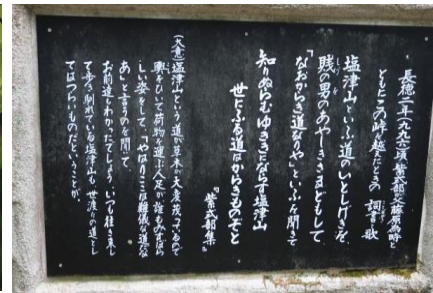
紫式部の歌碑



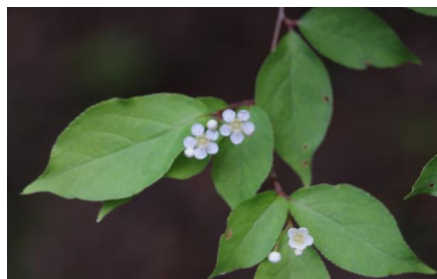
カマツカ



ウリハダカエデ 葉先が3~5裂



スダジイ



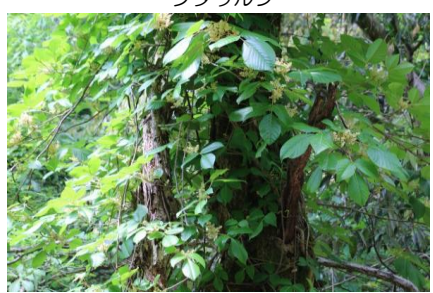
枝先に集まった葉 アワブキ



クマイチゴ 花弁が細く間があく



ツタウルシ



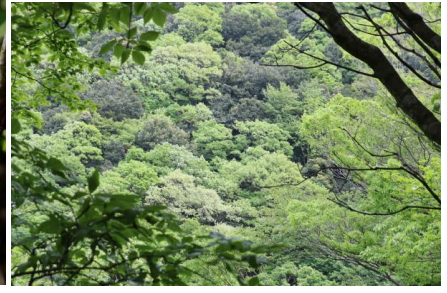
メギ



ニガキ



新緑の山 緑のグラデーション



【感想】

今回の例会の写真整理は、とても楽しめました。個人的に用事が重なり、整理の時間がまとめて取れませんでした。そのために、完成を急がず毎日少しずつ図鑑とにらめっこする時間が充実していたのです。深坂古道は新緑真っ盛りで植物も生き生きしていて、思っていた以上に花も咲いていて、あっという間に時間が過ぎてしまった印象です。

写真の整理を始めると、図鑑の見分け方のポイントになるところが写っていません。写真を拡大するとただボケるだけ、そんなことの繰り返しでした。

ご参加の皆様、楽しい時間をありがとうございました。幹事の皆様ご苦労様でした。

村山和夫